

◆086-234-5260 (城下公会堂)

# 寺子屋サウダーヂ

## 「街づくり」語り合う場

カフェを経営する(有)サウダーヂエンタテインメント(岡山市)の森山幸治社長が手掛けるのが私塾「寺子屋サウダーヂ」。第1回は7月26日にスタート、空き店舗対策や閉鎖する映画館の活用について尽力している森山氏が中心となって街づくりなどをテーマに語り合う。

会場は、同社が今春オープンした城下公会堂(岡山市天神町10-16天神ビル1階)。「塾生」は2階のカフェ「サ

## 長期視野に立ち本格化へ

ウダーヂな夜」常連客やその知人で、カフェをオープンし7年が経過し、常連客らの交流の場づくりとして立ち上げた。森山氏と同世代の30歳前後の若者が議論を展開。同氏が現在進めている佐賀県の映画館の活用策についてもテーマとなった。

少人数ながら一方向に講義するのではなく、参加者全員が意見を言い合うのが特徴。仲間内でスタートしたこともあり、酒場での会話のような雰囲気

があふれている。参加料は1500円(ワンドリンク付き)。月1回(原則第4木曜)開催していく。

森山社長は「スタートしたばかりでまだ模索段階。長期視野に立ち本格化していきたい」。将来は外部から講師を招へいすることも検討している。

城下公会堂では、フラメンコ教室や野菜をテーマにした勉強会などを開催。来春を目標に、子どもを対象にした音楽教室を開講する予定で塾や習い事を通じ、子どもや親同士のコミュニケーションを深めるのが狙い。一連の習い事についても「寺子屋」の一環。あくまでも堅苦しくない雰囲気「森山流」を貫く考え。

◆086-265-0011 (ライトアーム内)

# そよ風ネットおかやま

ジャパネットたかたの高田社長(前列右から2番目)と



## 各界の著名人と「対話」セミナーは毎回談論風発

を重視。「車座になってアットホームな雰囲気自由に発言できる場」(中嶋会長)として、講師と会員との距離感を縮めることを心掛けている。

日ごろのビジネスではなかなか会えない有名人との対話は、若手経営者にとって大きな刺激になるという。市川社長は「話を聞くだけでも勉強になるが、各界で成功した方々に自分の考え方をぶつけることで、本業発展へのヒントが見つかることもある」と話す。

元県議との勉強会が設立経緯ゆえ、「市民感情が分かる政治家を育てる」(中嶋会長)一面も。会員の中には、現職の岡山市議や4月の県議選に立候補した元証券会社社員も名を連ねている。逢沢一郎衆院議員を招いてのセミナーも定期的に行っている。

会員数は35人で、毎回のセミナーには若手経営者ら20人前後が参加。次回は10月ごろを予定しており、首相官邸訪問ツアーや辛子明太子製造の(株)ふくや(福岡市)の工場視察などを検討中。

そよ風ネットおかやまは4年前、史上最年少で初当選した元女性県議との勉強会として、(株)バンケットサプライの中嶋徳美会長、(株)ウェブハウスの市川周治社長、オージー技研(株)の奥田宏社長、角南考昭前岡山市歯科医師会会長の4人が発起人となり設立。3カ月に1回のペースでセミナーを開き、政治、経済、教育など各界の著名人を講師に招いている。

講師の人は選は会員から意見を聞いて決めるが、中嶋会長と顧問の福岡政行白鷗大学教授の人脈をフル活用し、各界の「旬」な有名人を招へいするよう努めており、最近ではラジコンヘリ世

界トップシェアのヒロボー(株)(広島県府中市)社長の松坂敬太郎氏、ノンフィクション作家の藤井誠二氏を講師に招いたほか、(株)ジャパネットたかた(長崎県佐世保市)の本社訪問と高田明社長との懇談会も開いた。

県外からの著名人だけでなく、若手経営者が「リスペクト」する地場の先輩創業者も講師に。7月10日のセミナーでは、(株)さえら社長の木谷忠義社長を招き、自らの経営理念や事業承継などについて語ってもらった。

セミナーは講師の話を一方向的に聞くだけではなく、質疑応答の時間をたっぷり設け、会員との積極的な意見交換

◆086-226-0503 (漂流岡山内)

# 地産地消ギルド岡山

## もうかる農業の確立目指す ゲストと本音で情報交換

地場農業の活性化を目指し、生産者、流通業者、デザイナーなどで組織する「地産地消ギルド岡山」(事務局・有漂流岡山)が、3カ月に1度の定例会を有意義なものにしようと開催している